

令和8年 4月 14日

令和7年度寄附講座活動実績報告書

寄附講座名：脳卒中神経疾患治療学講座

所属長：尾原 知行

1 寄附講座の目的

脳卒中患者の診療を行うとともに、重症筋無力症などの神経難病を対象に、発症・病態進展機序を解明するための研究を行い、これらの疾患における診断・治療法を探索する。

2 報告年度に係る取組状況

神経免疫疾患専門外来および脳梗塞をはじめとする脳神経内科入院患者の診療、重症筋無力症における新規の電気生理学的診断法の開発、病棟副医長として神経疾患診療を担う次世代の医師の教育育成。

3 報告年度における著書、論文、学会発表、講演、研究助成等の実績

[学会発表]

- 急性期画像所見の経時的変化を追跡しえたメトトレキサート関連白質脳症の一例。篠田 奈央，苗代 悠暉，西村 優佑，毛受 奏子，北大路 隆正，小島 雄太，田中 瑛次郎，尾原 知行。第131回日本神経学会近畿地方会。2025年7月5日。神戸。
- 首下がりで発症した脊髄小脳変性症(SCA8)の一例。安藤 あい，阪口 和希，田中 瑛次郎，毛受 奏子，北大路 隆正，小島 雄太，尾原知行。第132回日本神経学会近畿地方会。2025年12月13日。神戸。

3. メフロキン/ミルタザピンの併用療法により改善を認めた進行性多巣性白質脳症の一例. 安藤 あい, 石井 健太, 北大路 隆正, 笠井 高士, 毛受 奏子, 小島 雄太, 田中 瑛次郎, 尾原 知行. 第133回日本神経学会近畿地方会. 2026年3月1日. 大阪.

[講演]

1. 当院における最近のMG治療戦略. 千葉MG診療フォーラム. 2025年6月25日. 千葉.
2. 当院において分子標的薬を使用したMG 2症例. MG診療を考える会 in 京都. 2025年9月19日. 京都.
3. 重症筋無力症診療の進歩. 京都難病連医療講演. 2025年9月7日. 京都.
4. 当院におけるMG内科治療の動向. MG治療クロストーク～内科と外科の立場から～. 2026年2月27日. 京都.

[研究助成]

1. 能登祐一. 文部科学省科学研究費 基盤研究(C) 「高密度表面筋電図法による運動単位分離解析を用いた重症筋無力症の新規診断法の開発」. 研究分担者

※欄内におさまらない場合は枠を広げて記入のこと。

※大学ホームページ等において公表することとなるので、秘密情報については記載しないこと。